

■ \mathbb{N}_0 における二項関係 $\leq_{\mathbb{N}_0}$ を

$$n \leq_{\mathbb{N}_0} m \iff \exists k \in \mathbb{N}_0 (m = \Phi_k(n))$$

により定義するとき、二項関係 $\leq_{\mathbb{N}_0}$ は \mathbb{N}_0 における順序関係であることを示せ.

(解) (1) $0 \in \mathbb{N}_0$ は加法における単位元であるから、 $n = 0 + n = \Phi_0(n)$ より $n \leq_{\mathbb{N}_0} n$ が成り立つ.

(2) $n \leq_{\mathbb{N}_0} m$ かつ $m \leq_{\mathbb{N}_0} n$ を仮定する. 二項関係 $\leq_{\mathbb{N}_0}$ の定義より、ある $k_1, k_2 \in \mathbb{N}_0$ が存在して、 $m = \Phi_{k_1}(n)$, $n = \Phi_{k_2}(m)$ が成り立つ.

$$\Phi_n(0) \stackrel{\text{定義(1)}}{=} n \stackrel{\text{仮定}}{=} \Phi_{k_2}(\Phi_{k_1}(n)) \stackrel{\text{結合}}{=} \Phi_{\Phi_{k_2}(k_1)}(n) \stackrel{\text{交換}}{=} \Phi_n(\Phi_{k_2}(k_1))$$

と簡約法則により $0 = \Phi_{k_2}(k_1)$ が得られる. 性質

$$0 = \Phi_n(m) \iff n = 0 \text{ かつ } m = 0$$

が成り立つので、 $k_1 = k_2 = 0$ となる. したがって、 $m = \Phi_{k_1}(n) = \Phi_0(n) = n$ である.

(3) $n \leq_{\mathbb{N}_0} m$ かつ $m \leq_{\mathbb{N}_0} l$ を仮定する. 二項関係の定義より、ある $k_1, k_2 \in \mathbb{N}_0$ が存在して、 $m = \Phi_{k_1}(n)$, $l = \Phi_{k_2}(m)$ が成り立つ.

$$l \stackrel{\text{仮定}}{=} \Phi_{k_2}(\Phi_{k_1}(n)) \stackrel{\text{結合}}{=} \Phi_{\Phi_{k_2}(k_1)}(n)$$

と $\Phi_{k_2}(k_1) \in \mathbb{N}_0$ より $n \leq_{\mathbb{N}_0} l$ が得られる.

以上から、二項関係 $\leq_{\mathbb{N}_0}$ は \mathbb{N}_0 における順序関係である. ■